

工 學 博 士

岡 部 三 郎 氏

自在堰と特種擁壁

研究の第一人者

岡部三郎氏は大正五年に東京帝大を出た青年技術家である、醫博濫造の現在に於て實力を以つて工學博士になつた岡部氏は工學界の爲に大に氣を吐くものである。

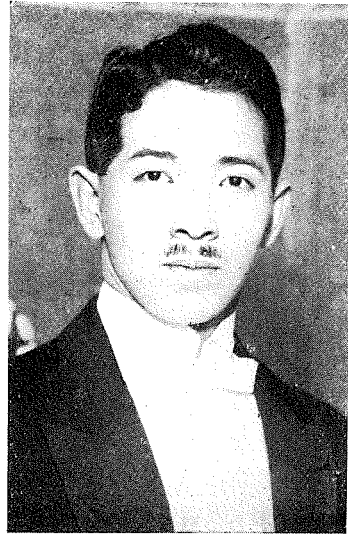
信濃川分水工事の自在堰は岡部氏が設計し施工したもので世界的に有名なものである、其工事終了後、氏は内務省から出張を命ぜられて大正九年から十年に獨逸、佛國、英、米諸國の河川特種工事及び港灣工事を視察した

現在では内務省横濱土木出張所第二工場主任として新知識に溢るゝ技術的手腕を振つてゐる。

今回の博士論文も自在堰と岸壁其他のウォールに關するものであると聞く、氏の特種設計になるバットレス、ウォールは大地震の影響を最も痛切にうけた横濱港に必然的に要求される耐震構造で、現に横濱港第三期擴張工事の岸壁として水深三米突の箇所に使用されてゐる。

昨年からは大阪市の自在堰設計顧問として月一回宛大阪へ出張してゐる。

記者が昨年横濱で初めて氏に會つた時、氏は土とセメントの着いた現場着で温厚な態度ではあるが青年技術家として力強い話をされた。氏は常に實驗と應用とに強い實行力を持



工 學 博 士

岡 部 三 郎 氏

Dr. Saburo Okabe. Specialist for Walls of River and Harbor.

つてをるものご見られた。

今や若い岡部博士は自在堰のオーソリーチーとして尙ほ耐震構造擁壁の實際的研究家として第一人者となつたわけである。

若い内から餘りに名聲を博する事は往々其人を誤るの原因となる事があるが、技術界に於て従來は餘りに若きものを認めなかつた傾向がある。然し實際的に或一の方面に研究し努力するものは必ず酬ひられざるを得ないわけで、國家として斯の如き青年を一人でも多く有する事は大なる強さを増すわけである。嘗に工學技術界のみの發展興隆をなすのみではない。

内務省横濱土木出張所には所長安藝博士の下に若き有力なる技術者が揃つてをる、恵まれたる役所として將來に尙大なる發展ある事と思はれる。